

授業科目	*母性看護方法論				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21313J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	古賀 玉緒、前田 幸							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本科目においては、周産期における女性と胎児、新生児およびその家族を理解するために必要な基本的知識を取得し、その知識を活用して母子やその家族の健康上の課題を解決するための看護を学ぶ。講義は、解説とともにDVDなどの視聴覚教材や模型を活用しながら解説を行う。また、小テストを実施することで知識の確認を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアについて説明できる。</li> <li>2. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の形態・機能的変化について説明できる。</li> <li>3. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象に関する診断方法や家族を含む看護について説明できる。</li> <li>4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期におこる異常と看護について説明できる。</li> <li>5. 母性看護に関心をもち学習に取り組むことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	25	20					45	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	50						50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	5						5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルを達成したうえで、より正確な知識・根拠をふまえて理解できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアについて説明できる。</li> <li>2. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の形態・機能的変化について説明できる。</li> <li>3. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象に関する診断方法や家族を含む看護について説明できる</li> <li>4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期におこる異常と看護について説明できる。</li> <li>5. 母性看護に関心をもち学習に取り組むことができる。</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: 妊娠期における看護(1)(古賀玉緒) ・妊娠前からのリプロダクティブヘルスケアをふまえ、妊娠の生理から胎児の発育とその生理について解説する。	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
2	テーマ: 妊娠期における看護(2)(古賀玉緒) ・妊娠前からのリプロダクティブヘルスケアをふまえ、妊娠の生理から母体の発育とその生理について解説する。 ・妊娠期に行う検査とその目的、妊婦と胎児の健康状態の診断などについて解説する。 視聴覚教材を用いて診察技術の実際についてイメージを図る	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
3	妊娠期における看護(3)(古賀玉緒) ・妊婦と家族の心理社会的変化や特徴について解説する。 ・視聴覚教材の事例より妊婦やその家族の心理的变化を考える。	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
4	妊娠期における看護(4)(古賀玉緒) ・妊婦と家族の看護について母子保健サービス、保健相談、分娩準備教育について解説する。	小テスト 講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
5	・妊娠期: 小テスト 妊娠期の異常と看護(古賀玉緒) ・妊娠期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
6	分娩期における看護(1)(古賀玉緒) ・分娩進行に伴う産婦の身体的、心理的变化を分娩の3要素・経過と産婦・胎児のアセスメントをふまえて解説する。	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習: 30分
7	分娩期における看護(2)(古賀玉緒) ・分娩期における産婦とその家族の看護について解説する。	講義	予習: テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習: 配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所を	予習: 60分 復習: 30分

			ノートまとめるか配布資料に書き込む。	
8	・分娩期:小テスト ・分娩の異常と看護(古賀玉緒)	講義 小テスト	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
9	産褥期における看護(1)(前田幸) 産褥経過(身体的変化)について解説する。	講義	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
10	産褥期における看護(2)(前田幸) 褥婦経過(心理・社会的変化)について解説する。	講義	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
11	産褥期における看護(3)(前田幸) 褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護について説明する。	講義	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
12	産褥期の異常と看護(前田幸) 産褥期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
13	新生児期における看護(1)(前田幸) 新生児の生理について解説する。	講義	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	予習: 60分 復習:30分
14	新生児期における看護(2)(前田幸) 新生児のアセスメント、看護について解説する。	講義	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。	予習: 60分 復習:30分

			復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込む。	
15	新生児の異常と看護(前田幸) 新生児期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。	講義 小テスト	予習:テーマに関して教科書を読み、資料を参考に教科書に下線を引いておくなどして講義に臨む。 復習:配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノート	予習: 60分 復習:30分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既存の学習内容(解剖学。生理学、薬理学など)もふまえた科目ですので復習をしておいてください。			
テキスト	森恵美著:系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学[2] 医学書院 2021 上田森夫他編:病気が見えるVOL10 産科 第4版 MEDIC MEDIA 2018			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	井上裕美他編:病気が見えるVOL9 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDIA 2018 末岡浩他:系統看護 女性生殖器 成人看護学9 医学書院統 2019 その他、適宜提示します。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>新聞などから母児に関する話題や問題を把握しておきましょう。</p> <p>講義では、DVD など視覚からの媒体を活用し、妊婦期の母体の変化や胎児の発育、分娩の実際、産褥期の母児の様子などイメージを図ります。</p> <p>周産期についてかなりボリュームのある内容です。欠席の無いよう体調を整え予習復習を行い講義に臨んで下さい。不明な点は教科書を確認したり教員へ質問に来たりするなどして問題解決に取り組んでください。講義中の携帯電話の使用は禁止します。また、私語など他者に迷惑をかける行為のないよう心がけて下さい。</p> <p>感染予防をふまえ講義では座席を指定しますので、不都合のある方は申し出てください。</p>
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>テストについては終了後に解説します。</p> <p>講義内で行う小テスト、定期試験にて総合的に評価します。</p> <p>上記の評価が不可の場合は試験にて再試験を行います。</p>

